

令和2年度 さいたま市立植水小学校 学校関係者評価書

1 学校関係者評価（学校関係者評価委員の意見等）

○ 学校について

- ・新型コロナウイルス感染症拡大防止の実態を把握して、保護者、地域も協力していく必要がある。
- ・小・中学校の連携、地域とのつながりが必要と感じた。地域の方からの情報は重要である。
- ・コロナ禍の状況において、体育振興会として学校と連携を図っていきたい。
- ・いじめ対策は多くの目で見えていくことと共に、道徳教育などで内面的なものを高めていく必要がある。

○ 児童について

- ・コロナ禍の現状の中、子どもたちは新しい生活様式を守りながら明るく生活していることがわかった。
- ・コロナ禍において、学校行事を工夫して行っているものもあるが、卒業学年の子どもたちの修学旅行が実施できなかったことが残念である。

2 学校関係者評価を受けた学校の対応

○ 学力の向上について

- ・学力の向上は学校課題研究で毎年度取り組んでいる。来年度も継続して、国語科の研修と防災教育の研究を取り組んでいく。
- ・「わかる授業（ユニバーサルデザイン化）」「のびる授業（主体的・対話的な深い学び）」の実現に向けて「学習計画」「モデル文」「ノート指導」「ふりかえりの記入」などの見直しと実践を積み重ねていく。

○ 地域・家庭との連携について

- ・家庭学習については「家庭学習の手引き」を作成・配布し、充実を図る。引き続き「家庭学習パワーアップ週間」に取り組みながら、実態に応じた様々な手立てを講じていく。
- ・コロナ禍の現状を踏まえた教育的効果が高まるよう行事を精選していく。
- ・学校HP、安心メール、学校便りなどを効果的に活用し、学校の取組をより一層周知を図っていく。

○ 生徒指導・教育相談について

- ・「心と生活のアンケート」を年3回実施する。実施後は担任が児童と面談し、管理職に報告して対応を協議する。また、必要に応じてケース会議を開催したり、SC、SSW等につなげたりしていく。